

「国防」

(宇都隆史参議院議員の講義から学んだこと)

平成 25 年 4 月 22 日

0008 大森康二郎

- ・ 民主政権で露呈・・・安全保障に弱い 政治のだらしなさ、ふがいなさ
- ・ なめられないことが大事
- ・ 確固たる「国家観」を持つこと
- ・ 領土・・・位置関係を把握すること
- ・ 主権とは武器をもつこと
- ・ 「國」という文字は、領土を国民が武器で守るを意味している
- ・ 軍の警察との違いは、他国から独立した国家である自国の民を守ることにある
国家の存続がその目的である
- ・ 攻撃せずとも、装備することが他国からの攻撃に対する「抑止力」となる

例えば北朝鮮の動向など目の前に大きな脅威があるのに、あまり身近な問題と感じないのが自分の現実であり、恥ずかしく感じた次第である。

正しい国家観をもつこと、自国を守ること、「主権」ということに対して、改めて自分の認識を正すべしと思い、整理することができた。

地方行政を主題に置いているため、防衛にはとても疎くて反省致しました。